エピソード

雨が降った後の園庭に水たまりがありました。Aちゃんは水たまりを見つけると手で触り始めました。「気持ちいい」と言いながら水と土が混ざっていく感触を楽しんでいます。混ぜていくうちに少しずつ丸い形になってきました。集めては、優しく泥の表面をポンポンと触ります。また他の場所から泥を持ってきては丸い形の上に乗せることを繰り返していました。「ペチャペチャ」と言いながらプルンとした泥の表面の感触を感じていました。そして、大きくなった泥のかたまりを見て、「ケーキ」と嬉しそうに言いました。

子どもの育ちや学び

気持ちいい!

雨あがりの園庭に水たまりを見つけ、触ってみようと思い、触ってみた。
(やってみよう)

ケーキ!

丸く、大きくなった泥のかたまりを見て、ケーキだと思い、言葉にした。
(嬉しい・喜び)

ペチャペチャ

- ・水と砂が混ざった時の、泥の手触りを楽しんでいる。
- ・周りにある泥を集めて繰り返しのせていくことを楽しむ。
- ・泥をのせるたびに表面をポンポンと触り、「ペチャペチャ」と触った感触を言葉にした。
(気持ち良さ・楽しい・何回もしたい)

手の感触だけではなく、くり返しのせる泥が、優しくポンポンと触ることによって一体化していき、見た目や音、質感から変化が感じられることが楽しい、面白い!と思ったようですね。

保育者の思い

・何度も泥をのせていく中で「どうなっていくんだろう」とワクワクしている姿を大切にしたいと思いました。

・この日は4・5歳児が遠足に出かけていたため、園庭には3歳児だけが遊んでいました。広い園庭に目を向け、いつも遊んでいる保育室前ではなく、総合遊具前の水たまりを見つけて遊び始めたことで土の質感の違いを感じたのだと思いました。

・形や感触からケーキに見立てたり、ケーキを食べた経験を遊びに重ねたりしているんだろうなと思いました。もしかしたら、もうすぐ来る誕生日を楽しみにしていたのかもと思いました。

お家の方へ

雨あがりの水たまりや泥の感触は、子ども達にとっても魅力的なようです。子ども達の興味ややってみてみたいと思う姿を大切にしたいですね。